

裏切り者／EGGKTO

解説書

1.0 2023年12月6日版

1. 制作環境
2. 全体構成
 - 2-1. 曲の流れ
 - 2-2. パート
3. ブロックごと
 - 3-1. イントロカウント
 - 3-2. Aメロ
 - 3-3. Bメロ前半
 - 3-4. Bメロ後半
 - 3-5. Cメロ（サビ） 1回目
 - 3-6. Cメロ（サビ） 2回目
 - 3-7. 間奏
 - 3-8. Dメロ（ブリッジ） 前半
 - 3-9. Dメロ（ブリッジ） 後半

1. 制作環境

OS: MacOS

シーケンスソフト: Cubase Artist 10.5

ボカロ制作: Studio One 2/Piapro Studio VST

インスト音声: HALion7, HALion Sonic SE 2

ボカロ音声: 初音ミクV3

オリジナルツール: アヴォイドチェッカー

2. 全体構成

2-1. 曲の流れ

1コーラス

イントロカウント (1)

Key: Cm

Aメロ (2-14)

Bメロ (15-30)

Cメロ[サビ] (31-38)

Cメロ[サビ] (39-50)

間奏 (51-58)

2コーラス

Aメロ (59-71)

Bメロ前半 (72-79)

Bメロ前半[バイオリンソロ] (80-87)

Dメロ[ブリッジ] (88-105)

Cメロ[サビ] (105-112)

Key: Dm

Cメロ[サビ] (113-118)

Bメロ後半 (119-129)

Key: Cm

エンディング

Cメロ[サビ] (130-137)

Cメロ[サビ] (138-150)

イントロカウントで始まって、1コーラス(50小節まで)。その後、間奏が入って、2コーラス目途中からバイオリンソロ(87小節まで)、ブリッジ(105小節まで)と流れてから、1音あげて転調したサビ(118小節まで)をシンプルなアレンジで進めた後、2コーラス目のBメロを途中のサビ前から再開。その後、盛り上がってサビからスパッと終了。

2-2. パート

ボカロ (コエ 役割:ボカロ高音 初音ミクV3

ボカロ (キグ 役割:ボカロ中音 初音ミクV3

ボカロ (フク 役割:ボカロ低音 初音ミクV3

バイオリン (オト 役割:サブメロディ、ソロ HALion7

ベース 役割:ベース音 HALion7

シンセブラス 役割:伴奏 HALion7

ピコピコ音 役割:にぎやかし HALion7

バスター 役割:リズム HALion Sonic SE2

スネア 役割:リズム HALion Sonic SE2

ハイハット 役割:リズム HALion Sonic SE2

シンバル 役割:リズム HALion Sonic SE2

3. ブロックごと

3-1. イントロカウント

イントロ(1)

| N.C. |

ハイハットのカウントのみ。

3-2. Aメロ

1コーラス(2-14)

2コーラス(59-71)

| Cm F/C Bbm | Eb/Bb Ab Bb | | | | Cm |

繰り返し繰り返し

| Cm F/C Bbm | Eb/Bb Ab Bb | | | |

繰り返し繰り返し

単純なパターンの繰り返しながら、16分のタイミングの音も入ってきて、曲の中で一番勢いのあるブロック。

Cm F/C と Bbm Eb/Bb のところが1音下がった繰り返しになっている。

3-3. Bメロ前半

1コーラス(15-22)

2コーラス(72-79)

バイオリンソロ(80-87)

| Ab | Bb7 | Gm7 | Cm | Ab | Bb7 | Gm7 | Cm |

1コーラス、2コーラスはロングトーンが主体のメロディと、歌詞を追いかけるように間に入るコーラスで構成する。

2コーラス目は、ベース音がなく、後半からその先の展開に向けてタイミングを合わせて一体感を強める。

バイオリンソロでは、伴奏を四分で刻んでテンポ感を支える。

3-4. Bメロ後半

1 コーラス(23-30)

| **DbM7** | | **Eb7** | | **F7sus4 F7** | **G7sus4 G7** | **Cm** | |

2 コーラス(119-129)

| | | | | | | | | **Cm** | **G7** |

8小節1 コーラスと同じ

サビに向けて、勢いをつけるタメのブロック。Fmキーに転調したとも解釈できるようなコード進行。

後半のsus4の解消の連続で、調性感をあいまいにしながら、Cmに戻る。

最後のCmは、便宜上Cmのコードだけど、Cの音を四分のオクターブしか出てこない。

2 コーラスの最後は、その先の展開の前倒しでサビ最初のG7が食って入る。

3-5. Cメロ (サビ) 1回目

1 コーラス(31-38)

エンディング(130-137)

| **G7** | **Cm** | **Ab Bb** | **Eb** | **Db** | **Cm** | **Ab Bb** | **Cm** |

2 コーラス(105-112) Dmに転調

| **A7** | **Dm** | **Bb C** | **F** | **Eb** | **Dm** | **Bb C** | **Dm** |

ドミナントセブンスから入るコードで、中盤に平行調のEbの雰囲気もある進行。

1 コーラス、エンディングは四分打ちのキックと、オクターブのベースでサビらしく、ノリのいいブロック。

2 コーラスはブリッジからの戻りで、1音転調して、リズムなしの落ち着いたアレンジ。

3-6. Cメロ (サビ) 2回目

1 コーラス(39-50)

エンディング(138-150)

| **G7** | **Cm** | **Ab Bb** | **Eb** | **Db** | **Cm** |

| **Ab Bb** | **B Db** | **Db/Eb** | | **Eb** | |

2 コーラス(105-112) Dmに転調

| **A7** | **Dm** | **Bb C** | **F** | **Eb** | **Dm** |

基本的には、構成も曲調も1回目の繰り返し。

1 コーラス、エンディングは7小節目からコーラスのシメに入って、メジャーコードEbで終止。

エンディングでは、7小節目にタメの1小節を入れてから、曲のシメに向かう。

2 コーラスでは、6小節目までで、次の展開になる。

3-7. 間奏

1 コーラス(51-57)

| **Cm** | **Bdim/C** | | **Cm** | **AbM7** | **Bb7** | **Bdim** | |

ディミニッシュコードが主体の怪しげな展開。

ラスボス感を出して、その先の歌詞の絶望感に繋げる。

3-8. Dメロ (ブリッジ) 前半

ブリッジ(88-95)

| **Cm** | | | | **Eb** | | | |

一応、CmとEbのコードをつけているけど、ルート音を鳴らしているだけ。

メロディは、完全4度音程をキープしたまま展開するので、ところどころ、コードに合わない音も出てくる。

3-9. Dメロ (ブリッジ) 後半

ブリッジ(96-105)

| F7 || G7 ||

| Cm G7/B Bb7 Am7b5 | Ab7 Gm7 B7/F# Fm7 |

| D7/F# | G7 |||

前半はセブンスコードによるブルージーな感じの流れ。

後半のコードが変わっていくところは、半音で下がってくるベースに合わせて、辻褃が合うようにコード付けをした結果。

ここは、全体的に一度音量を下げてから2小節かけてクレッシェンドして盛り上げて、ブリッジのシメに向かうところ。

最後のG7は、メロディのトップノートも減5度のDbの音で、通常のセブンスとテンションノートが違うので、独特な響きになっている。